

平成30年度 学校経営計画書

学校番号	101	学校名	富士市立高等学校	校長名	岩田 享
------	-----	-----	----------	-----	------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

自律する若者 ～未見の我を探そう～

「挨拶の励行」「服装を正す」「学びの心を育てる」「夢をカタチにする」

新高校は、「文化の興隆の根源は人に在り 人の啓発は教育に存す」と謳われている建学の精神を受け継ぎ、新たな教育理念CDI（「コミュニティ・ハイスクール」「ドリカム・ハイスクール」「探究・ハイスクール」）の実現に向け、学力の向上、探究する力、コミュニケーション能力、社会に貢献する意欲等を育て、「知・情・意」のバランスのとれた心身ともにたくましい「自律する若者」の育成に努め、自然と地域を愛し、富士市や社会に貢献できる人材を輩出する。

(2) 目標具現化の柱

ア 学ぶ喜びを実感できる「魅力ある授業」と「探究の精神（探究学習）」に満ちた学校

イ 基本的な生活習慣、環境美化及び規範意識を身に付け、「豊かな人間性」や「良好な人間関係」を育てる学校

ウ 魅力ある専門教育と学科の特色を活かし、社会人としての資質・能力を身に付けるとともに、教育課程の充実に努め、キャリア教育を推進することにより進路実現を支援する学校

エ 学校行事や部活動の充実に努め、自主性、協調性、たくましい心身を育成する学校

オ 家庭・PTA・地域と連携した教育活動を推進し、保護者・地域から信頼される学校

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

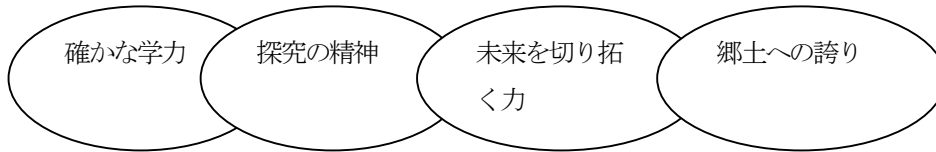
	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生活及び学習習慣の確立	日々の生徒との関わりを大切にする <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の校門指導 ・毎朝の健康管理チェック ・毎朝の学習時間調査 ・計画的、効果的な課題の提示（学年の教務、教科担当等で調整） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期毎、各クラス延べ欠席数20人以内、延べ遅刻数5人以内（入院等の長欠者を除く） ・平均2時間以上の家庭学習を行う生徒60% ・「週5日以上、家で勉強している」生徒80% 	生徒 教務 保健環境 学年
イ	魅力ある授業実践と授業力向上	教員校内研修の充実に努め、分かりやすい授業と学力の定着を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・教員研修週間年2回 ・出張時における授業振替の励行 ・アクティブラーニングの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業の内容が分かる」生徒70% ・授業評価目標得点率（75%）に到達した教員80% 	教務 企画研究 教科

		<ul style="list-style-type: none"> ・大手予備校による授業評価の実施 		
ウ	<p>高い志のもと進路実現のための進路啓発及び実績の向上</p>	<p>褒め、励まし、諭す指導と体系的なキャリア教育を推進する。また、教員の進路指導力と進学体制の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等との連携及び外部講師の招聘 ・探究学習・キャリア教育の充実 ・進路啓発のための初期指導の強化 ・年5回の面接実施 ・模試・センター試験分析会の実施 ・資格取得の奨励 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次末での進路目標未定者10%以下 ・「自分の将来に対する、はっきりとした夢や希望を持っている」生徒80% ・校外模試(7月→11月)の平均点偏差値の上昇と全国偏差値50以上の者の増加 ・進学(四大100名以上)及び就職内定率(100%) ・簿記検定1級合格率80%及び商業系検定1級合格率70% 	<p>キャリア支援 企画研究 教務 学年 学科</p>
エ	<p>現行の教育課程の見直し、及び大学入学者選抜改革に向けた準備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の教育課程の検証 ・平成33年度大学入学者(現1年生)選抜の研究 ・英語4技能評価に対応した指導方法の研究、実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の教育課程の一部変更 ・平成30年度入学生からポートフォリオ作成 ・英語資格・検定試験の中級以上の受験者150人、合格率60% 	<p>教務 キャリア支援 企画研究 学科 教科</p>
オ	<p>生徒の自主性・協調性及び目標に向かって挑戦する意欲と態度を育む</p>	<p>探究学習や特別活動及び部活動を通して、一人ひとりの資質や能力を最大限に伸ばせるよう支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究学習(「ディベート」「市役所プラン」「自分スピーチ」及び教科「探究」)の充実 ・生徒会・部活動の充実 ・各学科の海外探究研修の成果を学校全体で共有する機会の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題解決の道筋を予測し、課題を解決するための計画を立てることができる」生徒75% ・「学校で勉強した内容をもっと知りたいと思う」生徒60% ・「学校行事・部活動に満足している」生徒90% ・海外探究研修の検証と充実(保護者・生徒の満足度95%) 	<p>企画研究 生徒 学科 学年</p>
カ	<p>学校の安心安全と生徒・職員の健康増進</p>	<p>生命尊重の意識の高揚に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室の実施(年2回) ・1年生自転車運転技術チェック ・保健室・教育相談・生徒課情報交換会の実施 ・生徒の実態に即した保健講座の実施 ・「学校生活に関するアンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車安全指導カード(年間100件以内) ・自転車事故件数(昨年度より減) ・「学校に困ったことや悩み事を相談できる人がいる」生徒90% ・学年別に実施する保健講座後の意識向上率20% 	<p>生徒 保健環境 教育相談 学年</p>

		<p>ト」の実施（年2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・体罰防止対策に務め、その兆候を見逃さない。 <p>ワークライフバランスの観点から働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時退勤日での退庁推奨 ・部活動の計画的な活動及び休養日の厳守 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・体罰0 ・週3日以上午後8時以降に残留する職員0 	
キ	家庭・PTA組織・中学校・地域との連携	<p>相互の信頼関係を構築し、社会総がかりの教育を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科・学年別懇談会の充実 ・産官学と連携した教育の実践 ・地域交流事業（「人工芝で遊ぼう」「吹奏楽技術講習会」「多世代交流サッカー」等）の主催及び地域活動への積極的な参加 ・学校運営協議会の充実 ・HPの更新（週1回以上） ・ラジオエフの活用（月2回） ・学校見学会の開催（年10回） ・中学校訪問の実施（管理職を含め年4回） ・学校施設の適切な一般開放 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会の出席率60% ・学年学科別懇談会の出席率60% ・「本校が地域に開かれた学校と感じる」保護者の全体平均3.4以上（4段階） ・地域交流の実績40回以上 ・「学校運営協議会の提言が学校運営に反映されている」と回答する委員80% ・体育館・グラウンドの一般開放年間200日以上 ・庭球場の一般開放年間90日以上 	<p>総務 地域交流 キャリア支援 情報管理 企画研究 事務</p>
ク	適正な事務の執行	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事に合わせた適切なスクールバスの運行 ・学校食堂の適切な運営 ・省エネルギーの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年1月末現在のスクールバス利用者60人 ・食堂利用者の満足度80% ・電気使用量を前年度比3%削減 ・コピー機の利用枚数を前年度比5%削減 	<p>事務</p>

<本校のコンセプト:CDI>

郷土愛を胸に、夢の実現にチャレンジし、様々な世界で活躍する若者を育成する。



○Community (コミュニティ・ハイスクール)

地域、学校との連携を図り「自律する若者」を育てる高校

○Dream (ドリカム・ハイスクール)

夢を持ち続け、生涯にわたって学び続ける力をはぐくむ夢実現高校

○Inquiry (探究ハイスクール)

物事の本質を追究し、自分自身と向かい合い、向上心と探究心に満ちた高校

<特徴ある教育スタイル>

